

令和 6 年度 第 2 回 南丹市入札監視委員会 議事概要

開催日時及び場所	令和 6 年 1 1 月 1 1 日（月）午後 1 時 5 5 分～午後 3 時 0 5 分 南丹市役所 3 号庁舎 2 階 第 4 会議室		
出席委員氏名	委員長 西片 聡哉（京都先端科学大学経済経営学部教授） 委員 小林 全弘（学識経験者（前南丹市公平委員会委員長）） 委員 畑中 宏夫（畑中法律事務所弁護士） 委員 城戸 貴子（南丹市教育委員会委員） 委員 湯浅 睦子（学識経験者）		
審議対象期間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 6 年 9 月 3 0 日		
抽出案件	総件数 3 3 件	（備考） 予定価格 2 5 0 万円以上の建設工事	
一般競争入札	2 0 件		
総合評価入札	0 件		
通常指名競争入札	4 件		
随意契約	9 件		
委員からの意見・質問とそれに対する回答等	・ 令和 6 年度（上半期）の入札・契約の実施状況について 意見・質問は特になし ・ 入札及び契約手続きの運用状況等について 意見・質問は特になし ・ 抽出工事に関する審議について 意見・質問及び回答は別紙のとおり （１）一般競争入札抽出工事 6 総総工第 1 号 令和 6 年度 南丹市 1 号庁舎耐震改修工事 （２）通常型指名競争入札抽出工事 6 土都工第 4 号 令和 6 年度 府営住宅屋賀上団地修繕工事 （３）随意契約抽出工事 6 上水工第 3 号 令和 6 年度 南丹市水道事業 中央監視システム改修工事その 1		

別紙

・令和6年度（上半期）の入札・契約の実施状況について	
意見・質問	回答等
○特に意見なし。	—
・入札及び契約手続きの運用状況等について	
意見・質問	回答等
○特に意見なし。	—
・抽出工事に関する審議について （１）一般競争入札 6 総総工第1号 令和6年度 南丹市1号庁舎耐震改修工事	
意見・質問	回答等
○中央庁舎を落札した企業体と同一の企業体が落札した。入札の経過は理解するが、同一の業者が落札したことによるメリット等、詳細な説明を求める。	市役所は、日々大変多くの方が利用されることから来庁者の安全確保を最優先に工事を進めることになる。また、1号庁舎と中央庁舎を連絡する施設を今回工事で行うこととしており、中央庁舎を建築した者が構造を十分理解していること等、施設周辺の状況把握をはじめとする前回工事の実績と経験が大きく生かせることができると考えております。
○前回工事も含め、くじ抽選によるものが全体を通して多いと感じるが、金額以外の部分を評価する考えはないか。	総合評価入札方式につきましては、現在、検討していますが、それに見合った工事規模や内容等、全体の発注量も含め、課題がございます。しかしながら、金額以外での評価は、品質確保の観点からも重要と認識しておりますので、制度の実現に向け引き続き検討してまいります。
・抽出工事に関する審議について （２）通常型指名競争入札 6 土都工第4号 令和6年度 府営住宅屋賀上団地修繕工事	
意見・質問	回答等
○7社指名した結果、3社が辞退された結果となっている。主な理由が技術者の配置が困難であるとのことではあるが、指名する際に、現在の状況把握はできなかったのか。	指名競争入札は条件付一般競争入札とは異なり、事前に配置予定技術者の把握はしておりません。民間も含めた手持ち工事の状況把握も困難であり、同様のケースは他の案件でも見受けられます。特に繁忙期に技術者が配置できないケースが多いことから、出来るだけ参加しやすい環境に引き続き努めて参ります。

・抽出工事に関する審議について

(3) 随意契約

6 上水工第3号

令和6年度 南丹市水道事業 中央監視システム改修工事その1

意見・質問

○特命随意契約に至った詳細な理由を説明してください。

随意契約に至った理由でございますが、日昼夜問わず日々管理しているライフラインの監視管理の安定化に対応していくためには、対象設備の状況を的確に把握し、稼働中の遠隔監視システムに支障をきたさず確実な切り替え対応が求められます。

また、水道使用者である市民生活への影響を最小限に抑えることが重要で、万が一トラブルが発生した場合には、即時な対応力が必要であり、日常運転管理を含め、施設特有の専門的な知識とスキルが要求され、業務可能な受注者が限定されることから総合的判断のうえ、地方自治法施行令第167条の2第1項第6号の規定に基づき、特命による単独随意契約としたものでございます。

○落札率が52.20%と低かったが、予定価格が高かったのか。どのような事が考えられるのか。

予定価格を算出する際、参考に見積を徴取し、その後、基準書の歩掛けや刊行物により通常どおり積算された案件です。

また、随意契約案件は予定価格の事前公表を行っておりません。

日常の維持管理における専門的知識に加え、材料についても容易に調達できる等の優位性が低入札になった主な理由と考えております。